

- at Stapleton International Airport, Denver, Colorado., Attachment D. 1-4., Schlickemaier, H.W., 1988: Wind Shear Case Study, U.S. DOT/FAA/DS-89/19. Appendix 5.
- Faubusch, E.J. and Miller, R.C., 1953: Bull. Am. Met.Soc. Vol. 34, No. 6., Pettersen, S., 1956: Weather Analysis and Forecasting, New York McGraw-Hill, 168-173.
- Fujita, T.T., 1976: Spearhead Echo and Downbursts in the Approach end of a John F. Kennedy Airport Runway, New York City, Univ. of Chicago Press., SMRP Res. Paper No. 137, 51pp.
- _____, and Caracena, 1977: An Analysis of Three Weather Related Accidents, SMRP Paper 145, Univ. of Chicago Press., 17-23.
- _____, 1985: The Downburst, SMRP Paper 210, Univ. of Chicago Press, 122pp.
- Hjelmfelt, M.R., 1988: Structure and Life Cycle of Microburst Outflows Observed in Colorado, Journal of Applied Meteorology, 27, 8, 900-927.
- 加藤敏彦, 1991: 1987年7月25日雷雨に伴う強風とレーダーエコー, 東京航空地方気象台編 熱雷に関する地域特性調査, 130-139.
- 此田 進, 1991: 1987年7月31日雷雨の解析, 同上, 140-155.
- 小元敬男, 1989: 降雹と下降突風による災害, 文部省科学研究費自然災害科学研究成果, No. A-63-4, 10-67.
- 中山 章・伊関次男, 1985: 1983年7月27日に富山空港で発生した Microburst, 天気, 32, 329-332.
- 中山・渡辺, 1987: 1981年5月12日に羽田空港に発生した Low Altitude Wind Shear の解析, 天気, 34, 10, 615.
- National Center for Atmospheric Research, 1983: Research From The Joint Airport Weather Studies (JAWS) Project At NCAR, 8-12.
- Ohno, H. and Suzuki, O., 1991: Microbursts? Hazardous Divergent Wind in Kanto Plain Summer Afternoon 1990, Preprints, Fourth International Conference on Aviation Weather Systems, June 1991.
- 大野久雄・鈴木 修, 1991: 低層ウィンドシアーをドップラーレーダーで見る, 気象研究ノート 172. メソ・スケール気象学, 第5章 59-73.
- 田畑 明・赤枝健次・石原正仁・榊原均・中沢 榮, 1990: 1987年7月31日東京都で発生したダウンバースト, 日本気象学会1990春季, 105.



「北日本の異常気象」シンポジウムのお知らせ

標記シンポジウムを平成4年9月8～9日に東大海洋研究所大槌臨海研究センターで開催致します。このシンポジウムは、北日本の異常気象の実態把握と物理機構の解明を目指して毎年開催されているものです。今年度は4回目の開催となり、サブテーマは「大気・海洋・雪氷の相互作用を中心として」です。

ご承知のように北日本は天候の変調の影響を受けやすく、しばしば豪雪やヤマセなどの異常気象に見舞われています。これには北日本の占める位置や地形、海流の分布ばかりでなく、熱帯海洋、アジアモンスーン、極域の雪氷などの、グローバルな気候変動が影響していると考えられています。従って研究会では、大気物理学や海洋学、雪氷学などの研究者が一堂に会して、広い視野から活発な討論を展開することを期待しております。これらの問題に興味を持ち、この研究会に参加を希望される

方は、下記の事務局までご連絡下さい。

なお、研究会の会場は岩手県大槌町(釜石市の北方約12km)にあり、風光明媚な陸中海岸国立公園に面しております。宿泊には海洋研究所の宿泊施設(23名収容可能)も利用できます。またこの研究会に引続き、9月10～11日に「亜寒帯循環と北太平洋中層水」シンポジウム(研究会代表者は東北区水産研究所の友定彰氏)が開催されます。

シンポジウム事務局

〒036 青森県弘前市文京町3番地
弘前大学理学部地球科学科
力石 國 男
Tel. 0172-36-2111-(4212)
Facsimile 0172-33-2524



「DATA INFORMATION」の作成のお知らせ

1986年に有志により編集された「DATA INFORMATION」をこの度改訂いたします。下記の主旨にご理解を承りご協力の程よろしくお願いたします。

近年、気候学や気象学、海洋学や水文学など多くの分野で、多種多様で広範かつ大量のデータを必要とする研究が多くなっています。特に大型計算機やスーパーコンピュータ、ワークステーションの普及が一般的になるにつれ、またパソコンの性能の向上やネットワークも一役かって、より広範かつ大量のデータの利用希望が高まりつつあると思われます。こうしたデータの入手の際、まず苦勞させられるのは欲しいデータの有無の確認とその詳しい情報の収集、さらにはその入手先に関する情報の収集ではないでしょうか。また個々の研究者が同種のデータを重複して入手していたり、海外から取り寄せるのに時間がかかったり、費用、労力、時間の大変なムダになっているとも考えられます。公的なデータセンターを設立できればよいのですが、その実現にはまだまだ時間と費用がかかりそうです。そこでまず研究者相互のレベルで提供できるデータにつきその情報の整備をはかり、各研究者がその情報をもとに、欲しいデータのさらなる詳しい情報やコピーの依頼などを所有者に容易に申し込めるようにするのがこの「DATA INFORMATION」作成の主旨です。もしもお手持ちのデータのうちに相互利用に供し得るものがございましたら、下記の要項をご記入の上、郵送か電子メール、ファックスのいずれかで返信下さい。なおコピーの項目については、所有者の判断でコピーが可能な場合に限り可と、それ以外はすべて不可として下さい。著作権に関わりますのでよく確認の上ご記入下さい。締切は、1992年(平成4年)の8月末日とします。広く募集しますので、海洋学や水文学、地形学など他分野の方にも声をかけてみて下さい。できあがった「DATA INFORMATION」は、アンケートに御協力いただいた方には小冊子を無料で、また希望者には実費でフロッピーの形でも提供いたします。より多くのデータが集まりますようご協力の程よろしくお願いたします。

「DATA INFORMATION」作成のためのアンケート

- 1) データの名称、様式
(FGGE 3B 等の名称, SYNOP, TEMP 等の様式)
- 2) 含まれている要素、物理量
(temperature, u-wind, pressure など)
- 3) 入手元、作成元
(ECMWF, NCAR, NOAA, 自身で作成編集など)
- 4) コピー
(可, 不可) (_____ に許可が必要)
- 5) データの期間
年 月 日から 年 月 日まで
(時間: _____ から _____ まで)
- 6) 時間間隔
(1日2回 (00Z, 12Z), monthly, hourly など)
- 7) 水平分布 (station, 格子点など)
(格子間隔 _____ × _____)
- 8) 領域 (日本, 全球など)
(_____ 以南, _____ 以北) × (以東, _____ 以西)
- 9) 垂直分布 (mb 面, 高度など)
- 10) 媒体
(印刷物の形, MT, CMT, FD, CARD, CD ROM, MO など)
- 11) 容量 (巻, 本, 枚など)
(約 _____ MB)
- 12) 問い合わせ先 (詳細情報, 利用希望などの)
 - 1) 郵便番号
 - 2) 住所
 - 3) 氏名
 - 4) TEL: _____ (ex. _____)
 - 5) FAX: _____
 - 6) e-mail: _____

13) 備考 (欠測, その他の注意事項)

返信先 〒305 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 地球科学研究科 富田 智彦
TEL: 0298-53-4536 FAX: 0298-51-9764
e-mail: tomita silkroad. kk. tsukuba. ac. jp

データ情報システムを考える研究者の会
代表 村上 勝人